

ドラレコ画像を活用した道路変化点検知

住む 癒す 学ぶ
動く 楽しむ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

浜通り地域内において、あまり使われなくなった道路では、道路設備の不具合について情報収集が困難となっており、交通事故誘発の懸念がされている。当社はドライブレコーダー（以下ドラレコ）画像と、当社保有の地図情報を活用して、道路の変化点を効率的に検知する取組を行っている。ドラレコ画像は日々街中を走っているタクシー、商用車、公用車に設置されているドラレコ画像を活用するため、情報鮮度が高く、検知した情報を警察や自治体に提供することで、道路メンテナンス業務削減につなげたいと考えている。

②提案の概要

【実施内容】

当社は、タクシー、商用車、公用車向けに普及しているドラレコ画像と位置情報、当社地図情報を用いることで「道路変化点検知」を行い、ナビ地図データの鮮度向上を目指している。同様の仕組みを用いて、検知した道路変化点を自治体と県警に提供することで、道路設備の不具合を解消するためのリードタイム短縮に活用できるか検討も行っている。今年度、浜通り地域のフィールドを活用し、対象地域で走行しているドラレコ搭載車両から「標識・路面標示の摩耗具合」「道路性状の損傷具合」「危険な植栽」等の情報を収集、確認し、ドラレコ画像の有用性を確認する。

【新規性・事業性】

- ・ 現状の道路管理者の運用として、道路性状を調査する際、専用の調査（パトロール）車両にドラレコを設置している。当社は普段走行している車両のドラレコを活用し、パトロール車での調査業務を削減し、且つ鮮度の高いドラレコ画像から、変化点検知ができる。
- ・ ビジネスモデルとしては、変化点検知情報および蓄積された画像データを警察、自治体へ提供するサービスとして想定している。

【実証後の展開】

- ・ ドラレコ画像の有用性が確認できた場合、目視でなくAIによる自動検知の技術研究の実施
- ・ 網羅的にドラレコデータが取れる車両（公用車、商用車、見守り隊、青色防犯車両等）の検証
- ・ 自治体、福島県庁と福島県警への情報提供により、道路メンテナンス業務への活用検討の提案

図1：変化点検知イメージ



③事業実施に対し必要な要件

- ・ ドラレコ画像データの提供元の確保
- ・ 自治体、福島県庁、福島県警へのニーズの確認
(上記2点とも必須条件ではありません)

④想定スケジュール

- ・ 11月 実施計画策定、現地視察
- ・ 12～2月 ドラレコ画像の目視・対象地物の摩耗具合等の確認、取得画像有用性検討

⑤地元企業等とのマッチング希望

あり なし

会社名：株式会社ゼンリン